

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31206	茶華道入門（華道） Introduction to Tea Ceremony & Flower Arrangement	舟橋 久子	基礎	1	選択	1・2年 前期

科目の概要
 将来、人の生活や心を豊かにすることができる社会人になるために、まずは、自分の興味を広げ、心を豊かにしましょう。そのための第一歩として、日本文化の一つである華道と海外で生まれたフラワーデザインの基礎を学びます。

学修内容	到達目標
① 華道の基礎を学び、体験、習得する。 ② フラワーデザインの基礎を学び、体験、習得する。 ③ 植物の扱い方を知る ④ 花を通じ色彩の働きを理解する。 ⑤ グループで作品を作る場合、協力して作成する。	① 華道の基礎的な形を生けることができる。 ② フラワーデザインの基礎的な形を作ることができる。 ③ 植物の特徴を判断し、使うことができる。 ④ 色によるイメージの違いを感じることができる。 ⑤ 周りを配慮し協力することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	技術習得のため自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	作品を仕上げるにあたり、手順や方法を考えて進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	作品を仕上げるために、正しい手法や知識を選ぶことができる。
	計画力	
	創造力	基本を理解したうえで、応用することができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく話すことができる。
	傾聴力	人の話を柔軟に聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語などで他の人に迷惑をかけることはせず、授業がスムーズに楽しく進むようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 松玉流いけ花基本花形
 参考文献: なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: なし
 資格との関連: なし

学修上の助言	受講生とのルール
作った作品のスケッチまたは写真を撮り、使用した花材の名前や、特徴を覚えましょう。 自分の作品だけでなく他の人の作品も、よく観察しましょう。	1/3 以上の授業を欠席した学生は評価しない。 遅刻 3 回で欠席 1 回とします。 携帯電話は、電源を切るか、マナーモードにし、かばんにしまっておくこと。 お花は生ものです。入荷状況により、学修内容または順序を変更する場合があります。ご了承ください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	4回の小テストを行う。
		②	✓	①授業内容を理解しているか確認する。
		③	✓	出題範囲は、各時点までの授業で学修し、指定した部分とする。
		④	✓	生け花の歴史、花の形による分類、水上げ方法、花留め、色の働きなどを出題する。
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓	課題のポイントを押さえ、一応形ができています : 50点
		②	✓	課題のポイントを押さえ、形ができています : 70点
		③		課題のポイントを押さえ、植物を活かし、きれいに形ができています : 90点
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	(主体性)
		②	✓	・自発的に実技に取り組むことができる。
		③	✓	(実行力)
		④	✓	・課題達成に向かい粘り強く実技に取り組むことができる。
		⑤	✓	(課題発見力・創造力)
				・課題のポイントをおさえ修正・応用することができる。
				(発信力)
				・聞き手にわかりやすく話すことができる。
				(傾聴力)
				・『あいづち』や『うなづき』人の話を聞くことができる。
				(規律性)
				・人に迷惑をかけることや、学修意欲欠如、非協力が見られる場合は、5点減点する。準備や片づけをすることができる。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>A の目安 : 小テスト80%以上の点数と実技で『課題のポイントを押さえ、形ができています :70点』が 9 回以上。</p> <p>S の目安 : 小テスト80%以上の点数と実技で『課題のポイントを押さえ、形ができています :70点』が10 回以上。さらに『課題のポイントを押さえ、植物の特徴を生かし形ができています :90点』が1 回以上。</p>	<p>B の目安 : 小テスト70%以上の点数と実技で『課題のポイントを押さえ、形ができています :70点』が6回以上。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	いけばなの簡単な歴史を知り、いけばなの基本的な形を学ぶ。 直立系盛花	講義 実技	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
2週 /	いけばなの基本的な形を学ぶ。 直立系盛花	講義 実技	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
3週 /	フラワーデザインとは何かを知り、フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 トライアングュラススタイル	講義 実技(グループ)	作品を一応三角形にまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 ステムを活かしたデザイン	講義 実技 小テスト	作品を、ステム(茎)を活かしまとめることができる。	(復習)いけばなの歴史についての小テストを行うため復習しておくこと。	90	実行力 規律性
5週 /	いけばなの基本的な形を学ぶ。色の働きについて学ぶ。 傾斜型盛花	講義 実技	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
6週 /	いけばなの基本的な形を学ぶ。色の働きについて学ぶ。 傾斜型盛花	講義 実技	基本の位置に、おおよそ花を生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
7週 /	花の形による分類を学び、使用する花を分類にあてはめる。 オーバルスタイル	講義 実技(グループ)	作品を一応楕円形にまとめることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	フラワーアレンジメントの基本的な形を学ぶ。 オールラウンドスタイル	講義 実技(グループ) 小テスト	作品をドーム形にまとめることができる。	(復習)フラワーデザインとは・花の形による分類の小テストを行うため復習しておくこと。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	いけばなの応用花形を学ぶ。 (色の働きについて学ぶ。予備)	講義 実技	植物の特徴を活かし、生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
10週 /	いけばなの応用花形を学ぶ。	講義 実技	植物の特徴を活かし、生けることができる。	(復習)持ち帰った花材を、工夫して飾ること。	90	主体性 規律性
11週 /	基本的なコサージュの作り方を学ぶ	講義 実技 小テスト	コサージュを作ることができる。	(復習)色の働きなどについての小テストを行うため復習をしておくこと。	90	実行力 規律性
12週 /	葉物を活かしたデザインを学ぶ。	講義 実技	葉の特徴を活かすことができる。			実行力 創造力 規律性
13週 /	ヘアカチューシャの作り方を学ぶ。	講義 実技	ヘアカチューシャをつくることができる。			実行力 規律性
14週 /	いけばなの花形を自分で決め、生ける。	講義 実技 小テスト	自分で決めた花形に、花を生けることができる。	(復習)フラワーデザイン用語・花留めについて的小テストを行うため復習をしておくこと。	90	主体性 課題発見力 規律性
15週 /	アーティフィシャルフラワーを使ったデザインを学ぶ。	講義 実技	作品を完成させることができる。			課題発見力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31206	茶華道入門(茶道) Intro: Tea Ceremony	小笠原 愛子	基礎	1	選択	1・2年 前期
科目の概要						
<p>茶道の稽古(基本の所作/客/水屋準備/点前)を体験することで、自らを律して行動する難しさと必要性を知る。茶会を開催し、自他に敬意をはらい感謝する心を表現し、もてなし もてなされお茶を味わう和敬清寂を体感する。茶道の知識や精神(歴史/美術/建築/食文化/季節・茶花・庭/禅など)を学び、自分なりの興味見解をもつ。本講座は、はじめての茶道として初歩の内容をいたします。(客として畳に座りお茶やお菓子を頂く稽古もします。)</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 素直に繰り返し所作の稽古を実施する。 ② 所作や道具の名称、用語を記憶し理解する。 ③ 茶道の知識・精神(歴史・文化・人物・禅・花等)を学ぶ ④ 茶会の準備学習・稽古を協力して実施する。 ⑤ 茶会を開催し、主客共、和敬清寂の心でもてなし合う。</p>			<p>① 自分の心身の変化を感じることができる。 ② 効果的な稽古を行うことができる。 ③ 茶道を通して物事を考察することができる。 ④ 茶会で自分の役割を果たし参加することができる。 ⑤ 静寂の中、「おいしくお茶をいただくこと」ができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	所作・点前の修得のため、シラバスやプリントで十分復習することができる。また、他者のそれをよく見学し素直に学ぶことができる。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	失敗してもあきらめず、自ら積極的に反復練習(復習)することができる。よりよい稽古となるように、他クラス・他学年にも自ら挨拶し和敬の心を実践できる。				
	課題発見力	自分自身の行動の現状を客観的に見つけ、分析することができる。				
	計画力					
チームで働く力	創造力	茶道の知識・精神・所作を取り入れることで生活や自身が、どのように変化するか見つけることができる。				
	発信力	茶室では、しつらえや佇まいで主旨や思考を伝え、お互いを察する知識と力量が問われる。そのつもりで、静寂の中、五感を研ぎ澄まし行動することができる。				
	傾聴力	話を聞く時は、相槌やうなずきをもって聞くことができる。相手の言いたいことを素直に受け止めて聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力	稽古(茶会)の流れを把握して、身支度し、水屋仕事、片づけなど自分の役割を考える。和敬清寂の空間を生み出す努力をする。				
チームで働く力	規律性	指示やルール(身だしなみ、用具の準備、時間)を守り、自らの役割を果たすことができる。自分のことを優先しない				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:必要時にプリントや掲示で示す。茶道用具の購入と水屋料が必要となります。 茶道用具:服紗(女、朱色 男、紫) 扇子(茶道用) 懐紙 懐紙ばさみ 水屋料:お茶、お菓子などの購入費 ※他流派の用具を使用する場合、講座第1・2回目に持参し必ず講師に許可を得てください。用具なく履修不可。 参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:特になし						
資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
稽古中は、メモが取れないので、より集中して話を聞き、習得する。さらに、各々記憶を整理し積極的に復習し、配布されたプリントの学習も重要。茶道では、社会人基礎力を総合的に発揮することが望まれる。あきらめずに努力することが大切。			長い髪は束ね、華美なネイル、指輪など装飾、香水は控える。洋装は膝がかくれるスカートまたは長ズボン着用。(上記ルールの重要性は、講座内で解説する。) 茶道以外の私語をしない。欠席、忘れ物をしない。茶室への、私物・携帯などの持ち込み不可。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト	20	① ② ③ ④ ⑤	出題範囲は、各時点で学習した内容とする。 小テストの点数を平均して判定する。 1. 授業内容を理解できているか確認する。 2. 授業内容から得たことをどのように受け止め感想を持てたか。 3. 配布したプリントの自主学習の習熟度を確認する。
レポート	20	① ② ③ ④ ⑤	レポート用紙は事前に配布され、最終日(茶会の後)に提出する。 (茶道を体験し、何を身に着け、何に気づいたか。 今後にどのように繋がられるか、興味・見解を自分の言葉で書く。)
成果発表 (口頭・実技)	30	① ② ③ ④ ⑤	講義中の茶室での振る舞い、稽古の取り組み方、応答を評価する。 (各自の上達を評価する。) 随時、所作の実技を評価する。 まとめの茶会
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	① ② ③ ④ ⑤	(主体性) 所作や点前修得のために復習することができる。 (実行力) 相客に自ら挨拶ができる。 (課題発見力) 稽古に取り組むことで自分自身と向き合う努力ができる。 (創造力) 茶道を生活に取り込むとどのように変化が起こるか見つけられる。 (発信力) 学習で得た知識・精神、所作をもとに、茶室においてそれらを表現する努力ができる。 (傾聴力) うなずき、あいづちなどして話を聞くことができる。 (状況把握力) 茶会(茶道)を成功させるべく、自分の役割を考えて協力することができる。 (規律性) 自分のことを優先しないでルールを守ることができる。
その他	10	① ② ③ ④ ⑤	茶道用具の準備が期限内にできたか。 用具、プリント、提出物を忘れなかったか。 また、他に迷惑になる(欠席や遅刻など)場合や失敗した場合などは、速やかな報告連絡相談ができるか。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
うなずきをもって傾聴し、積極的かつあきらめず稽古(茶会)に取り組み、道具や相席のものへの敬意を払い感謝の心「和敬清寂」を表現できる。また、道具、茶花、菓子などに興味を持ちそれにまつわる人物・季節感・味などに感想をもつことができた。茶会開催に協力し、「おいしくお茶を点て、おいしくいただく」よう努力できる。	うなずきをもって傾聴し、積極的かつあきらめず稽古に取り組み、「和敬清寂」を考えることができる。また、所作や道具の名称、用語を記憶し稽古を円滑に行う努力をする。茶会開催に協力し、「おいしくお茶をいただく」よう努力できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	茶道用具や身支度について。和敬清寂、表千家について所作(歩く立つ座るなど)	プリントにて座学。所作実習	シラバスの内容をよみ、茶道にのぞむ心構えと身支度の準備ができる。	(予習)茶道用具の準備や身支度を整えるための準備。(復習)所作復習	90	主体性 傾聴力
2週 /	割稽古 所作稽古 茶道の知識	プリントにて座学。稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)小テスト	シラバス・プリントの内容をよみ、茶道にのぞむ心構えと身支度の準備ができる。	(復習)習った所作と知識の復習をする。小テストの学習。	150	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	割稽古 所作稽古 茶道の知識 (床についてと拝見など)	稽古実習 小テスト	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。	(復習)習った所作と知識の復習をする。小テストの学習。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4週 /	割稽古 所作稽古 茶道の知識	稽古実習 小テスト	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。相席のものに自ら挨拶する。	(復習)習った所作と知識のまとめ復習をする。小テストの学習	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力
5週 /	割稽古 所作稽古 まとめ 茶道の知識	稽古実習 小テスト	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。相席のものに自ら挨拶する。	(復習)習った所作と知識のまとめ復習をする。小テストの学習	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力
6週 /	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。相席のものに自ら挨拶する。	(復習)習った所作と知識の復習をする。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力
7週 /	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。相席のものに自ら挨拶する。	(復習)習った所作と知識の復習をする。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力
8週 /	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで班に分かれて順に実習)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。相席のものに自ら挨拶する。	(復習)習った所作と知識の復習をする。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	点前・客の稽古 茶道の知識	稽古(第10週目まで 班に分かれて順に 実習)	ルールを守り うなずきをもって傾聴し積 極的に稽古に取り組む努 力ができる。相席のもの に自ら挨拶する。 和敬の精神を考える努力 ができる。	(復習)習った所作と 知識の復習をする。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力
10週 /	点前・客の稽古まとめ 茶道の知識	稽古(第10週目まで 班に分かれて順に 実習)レポートの課 題提示。小テスト	ルールを守り うなずきをもって傾聴し積 極的に稽古に取り組む努 力ができる。相席のもの に自ら挨拶する。 和敬の精神を考える努力 ができる。	(復習)今までの所作 復習と レポート課題を書き すすめる。 小テストの学習	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力
11週 /	これまでのまとめ。 大寄せの茶会について学習。 (おいしいお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の流れを学習。 主・客に分かれて役 割を決める。 学生主体の会議	チームに協力して学習を 実施する。自身の担当と 全体の茶会ながれを把握 する努力をする。 和敬の精神を考える努力 ができる。	(復習)茶会の学習 内容で不明な点は 解消しておく。稽古 の復習。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力
12週 /	主客に分かれて茶会の稽古 (おいしくお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて)	チームに協力して学習を 実施する。自身の担当と 全体の茶会ながれを把握 する努力をする。 和敬の精神を考える努力 ができる。	(復習)今までの所作 復習と レポート課題を書き すすめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力 発信力
13週 /	主客に分かれて茶会の稽古 (おいしくお茶を点てること。 おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて)	チームに協力して学習を 実施する。自身の担当と 全体の茶会ながれを把握 する努力をする。 和敬の精神を考える努力 ができる。	(復習)茶会①の役 割確認と身支度を整 える。レポート課題を 書きすすめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力 発信力
14週 /	まとめ 茶会を楽しむ ① (主は、静寂の中もてなす。 客は、主旨をうけとめる。) 総括	茶会体験 (主または客のみ。) レポートへ茶会感想 を記入	稽古を踏まえ、心静かに 茶会の一員として行動し 茶会を楽しむ。	(復習)茶会②の役 割確認と身支度を整 える。レポート課題を 書きすすめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力 発信力
15週 /	まとめ 茶会を楽しむ ② (主は、静寂の中もてなす。 客は、主旨をうけとめる。) 総括	茶会体験 (主または客のみ。) レポートへ茶会感想 を記入 レポートの提出	稽古を踏まえ、心静かに 茶会の一員として行動し 茶会を楽しむ。			主体性 実行力 傾聴力 規律性 創造力 課題発見力 状況把握力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力